

令和 6 年度

第 2 回第 20 教科用図書採択地区
教育委員会協議会会議録

令和6年度第2回第20教科用図書採択地区教育委員会協議会会議録

○ 日 時 令和6年8月8日（木）15：40～16：10

○ 会 場 釧路市教育委員会 教育委員会室

○ 出席者 委 員 釧路市教育委員会 岡部教育長
釧路町教育委員会 辻川教育長

事務局 釧路市教育委員会
釧路町教育委員会

令和6年度第2回第20教科用図書採択地区教育委員会協議会会議録

事務局（司会） 只今から、第2回第20教科用図書採択地区教育委員会協議会を開会いたします。

議事に入る前に皆様にお配りした資料のご確認をお願いしたいと思います。はじめに本日の協議会の次第、出席者名簿、それから、釧路管内小中学校使用教科用図書一覧、なお、この一覧は今回採択の記録用としてもお使いいただきます。以上のとおり資料の確認をお願いいたします。よろしいでしょうか。

本日は次第にありますとおり、まず第20採択地区で来年度以降使用する中学校用教科用図書の選定について、教科ごと1種に決定させていただきます。その後、情報公開の方法等について確認させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、中学校用教科用図書の1種決定でございますが、教科用図書調査委員会から答申を受けました調査研究結果に基づき、本日、実施をさせていただきました説明会の質疑等を参考に両教育長により候補教科用図書の選定協議をお願いいたします。

最初に、国語からお願いいたします。

釧路市教育長 まず私から国語については、実は調査票の中にも多少書かれていますけれども、今回は教育出版を選定したいと思っております。前回の採択において、光村図書の評価が高い報告もありまして、同社の教科書を採択しましたが、学力調査の結果や学習意欲などへの直接的な効果が見えにくかった状況があります。それらを踏まえて、今回の教育出版の教科書は、国語、書写両者とも日常生活や社会生活に関連させるコーナーもあり興味をもたせやすく、高校入試に対応するための章立てなどもありまして、何とかここで学力と意欲の向上に関連させながら活用すべく、再度教育出版の教科書を用いていきたいと思っております。

また、昨年度の小学校用教科書の採択におきましても、教育出版を採択しておりまして、小学校との継続性や中学校へのスムーズな導入のほか、教員及び生徒にとって、長期に親しんでいる教育出版が適しているのではないかと思います。

釧路町教育長 私としても、昨年度の小学校の採択において、前回使用した光村図書の教科書は児童にとって少し難しく、なじみにくい内容があったとも聞いており、それ以前に使用していた教育出版を選考した経過があります。中学校は専門教科ですからそれはないと思いますが、やはり小学校との関連性、特に釧路管内あるいは釧路市もそうですが小中一貫校義務教育学校の流れになっておりますので、小・中の継続性、連続性が1つ目の

観点です。

それからもう1つの観点は、今日の説明会の中でもありましたが、国語、書写どちらも北海道を題材に取り上げている数が豊富なこと、やはり学力を上げる部分でやっぱり身近なところから入っていかないとなかなか主体的な学習にもつながらないということもありますので、それらの観点からも、教育出版が望ましいのかなというふうに考えているところです。もう1つ説明会の質問で、主体的な学びに関しての各社の工夫・特徴的なものはありますかという質問ではですね、各社それぞれ工夫されているということでもどのようにとっても変わらないという判断でしたが、特に書写では書き方の動画コンテンツも充実している面も含め、先ほどのとおり北海道の題材を多く取上げている教育出版が適していると思います。以上です。

事務局（司会） それでは国語・書写は教育出版といたします。
次に社会お願いいたします。

釧路市教育長 社会についても、それぞれの教科書、非常に練られているという調査報告でもありまして、私も実際そうであったと思っております。そういった中で、各小委員会からもありましたが、やはり社会については継続性や学習の関連性、一貫性を考慮する必要性があるのではないかというお話がございまして、このような意味からも社会各教科については、地理、歴史、公民、別々の出版社ではなく、まずは同一の会社の教科書を選ぶべきではないかと考えております。加えて、中学校の導入、小中連携という視点からも、現在、小学校の社会については教育出版ということになってございますので、まずは社会の3教科、継続性を考慮して引き続き教育出版が適しているのではないかと考えております。

また、地理の北海道との関連におきましても、自然環境と産業と北海道の関係や、アイヌの人々の歴史、共生等の写真・動画、北方領土問題など丁寧に説明されており、釧路地域も取り上げられていることから、教育出版が適していると考えております。

あわせて地図に関しては、委員からのご説明により、大きさや色、配置、写真、各種の図などの見やすさから、現状との継続性も含めて帝国書院が適していると思います。

釧路町教育長 私の方も、社会科、地理においては、教育出版が北海道の題材が多いということ、それから、小学校からの継続を考えたときにも教育出版が適しているかなということでもあります。

また、歴史においては間宮林蔵、伊能忠敬、アイヌ民族を取り上げていることや、わりと簡潔に主体的な振り返りができる「確認」、「表現」

などのコーナーも多用され、公民では倶知安町や名寄市の身近な自治体の話題を取り上げているほか、学習方法でも生活体験を基にした学習課題の捉え方に工夫がされた「ウォーミングアップ！公民」のコーナーによる導入方法が興味深いと思いましたので、分野の関連性も踏まえ歴史、公民も教育出版で統一すべきではないかと思います。

また質疑応答の中で、小委員会からの報告で、どの教科書になっても教師側の工夫があれば、対応できると、問題ないというような答えも出ておりましたけれども、そういう観点からも、3 領域とも今使っている教育出版を選定したいと考えております。

地図も同じように関連し、アイヌ民族の開拓の歴史、アイヌ語地名、道内の市町村の題材が豊富で、データ量が多いというような意見も出てきましたので、教科書会社は違いますが、いずれの教科書にも対応しているつくりになっているとの報告があった、帝国書院が適していると思います。

事務局（司会） では社会は、地理、歴史、公民3教科とも教育出版、地図は帝国書院といたします。

それでは次に数学お願いいたします。

釧路市教育長 数学についても、各社とも様々、工夫がなされているという調査報告があった中で、特に東京書籍の配色、レイアウト、図、写真など、視覚的な見やすさに関する工夫が、委員の皆さんのお話から、私に残るものとなっておりました。また、前回、教育出版の教科書を採択しましたが、生徒の学習意欲、学力調査の結果などの効果がよく見えなかった状況があります。それらを踏まえて、今回の東京書籍の教科書は、導入部分に身近な題材を使って数学の必要性を感じさせており、小学校の算数で使っている教科書会社と同一になりますので、継続性のことも考えますと、数学については東京書籍が適しているのではないかと思います。

釧路町教育長 私の方からですが、今日の小委員会の報告の中でもありましたとおり、デジタルコンテンツの充実で東京書籍が挙げられており、今後、そういう活用が多くなるだろうと思ひまして、その観点からも、東京書籍がよろしいのではないかと考えます。今後そのデジタルコンテンツが充実したものを活用しながら、学力向上にもつなげていければということが1点です。それから、今日の小委員会の報告にはなかったのですが、私自身教科書をいろいろ見比べてみると、東京書籍が非常に基礎基本を大事にしたところから入り込んでおり、特に中学校1年生の教科書は、小学校の振り返りとして、第1章に入る前に第0章を設定しており、非常に基礎基本を重視しているつくりがうかがえたので、東京書籍が適してい

ると思っております。以上です。

事務局（司会） 数学は、東京書籍といたします。
では次は理科お願いいたします。

釧路市教育長 まず、理科については、どの会社も同様のところがありながらも、教育出版が1人1台端末ということを意識しながら、まなびリンクなどの二次元コードが充実しており、タブレットを活用して学びを深めるような工夫がなされているなどということもあって、現状や小学校との継続性から、私は教育出版を選定したいと思います。

釧路町教育長 私も教育出版が適していると考えます。理由ですが、調査報告の中にもありましたが、色や配置の配慮により図、写真が鮮やかであるという話もありました。それから、霧フェスなど管内、北海道の教材についても数多くありまして、また、教科書を見比べたときに気づきましたが、教育出版ではQRコードの位置と内容が整理され、しかも豊富に用意されており、QRコードを探さなくても見つけやすいということ、タブレット等で写しやすいことなど、非常に生徒にとって使いやすさがあるのではないかと思ったところもありますので、教育出版が適していると考えております、以上です。

事務局（司会） それでは理科は教育出版といたします。
続いて音楽お願いいたします。

釧路市教育長 音楽については、教育芸術社と教育出版の2社で、中でも調査委員の先生からのご指摘のとおり、生徒や教員の視点から扱いやすさを求めたつくりになっているのが、やはり教育芸術社ではないかと考えております。

これは、音楽を専門としている教科書会社ならではのつくりであり、また、郷土芸能や道内の教材が豊富ということや、音楽の捉え方や価値観の持ち方を考えるコーナーもあることから、引き続き教育芸術社を選定すべきと思います。

釧路町教育長 釧路町では、教育委員さんにも教科書の閲覧をしていただいたところ、教育芸術社の教科書を見ると、音楽が苦手な自分でも曲が分かりやすいようなつくりになっているのではないかとこの意見を頂きました。

また、教育芸術社の器楽では、奏者のコラム、同世代の活動など興味を持ちやすい工夫があり、小学校や現状との継続性という観点、一般音楽の教科書との関連性からも、教育芸術社の教科書を使っていくのが適

しているのではないかなと考えているところです。以上です。

事務局（司会） それでは、音楽は一般・器楽ともに教育芸術社といたします。
続きまして、美術お願いいたします。

釧路市教育長 調査の結果を聞いて、甲乙つけがたい気がいたしましたが、やはり、
日文に関しては、1人1台端末への対応として、導入部分から二次元コ
ードが充実し便宜を図っている点は、これが本当だなと思ったことと、
小学校の図工とも連続性、継続性があり、中学校への円滑な導入がしや
すいということで、日文を継続することによろしいのではないでしょ
うか。以上です。

釧路町教育長 釧路町としても、本日の小委員会の報告にもありましたが、日文の教
科書は、北海道の関連題材が豊富ということも1つあり、また、報告の
中で、生徒の実態や学校・地域に応じて教材の選択が可能だというよう
な説明もありまして、非常に柔軟につくられているということが分かり
ましたので、引き続き日文を選択したいと考えております。

事務局（司会） それでは、美術は日本文教出版といたします。
続きまして、保健体育お願いいたします。

釧路市教育長 保健体育に関しては、例えばユニバーサルデザインを意識した色や表
現、レイアウト等々の面で誰でも見やすく、引き続き学研を選択したい
と思います。そして、学研は20地区の先生方にとっては長期にわたり使
用してきた継続性の観点からも、今回も継続すべきと考えました。以上
です。

釧路町教育長 釧路町としましても学研が適していると思っております。説明会の中
で、「生徒の扱いやすさはどうですか」という質問に対して、確か、「違
いはない」という答えであったと思いますが、例えば学研が近年の熱中
症の対応がわかりやすい点などもありまして、いずれも大きな差はみら
れないことから、教員や生徒により扱い慣れている教科書を使っていっ
たほうが使いやすさがあるのかなと判断しましたので、教科書の継続性
を重視し学研としたいと考えております。以上です。

事務局（司会） それでは保健体育は学研といたします。
続きまして、技術・家庭お願いいたします。

釧路市教育長 私は、技術家庭ともに東京書籍と考えております。ちょうど調査委員

の先生からも、内容を精選、絞り込みされており授業を行いやすいとの評価がされておりましたことや、生徒にとっても使いやすく、現在との継続性と2分野の関連性から引き続き先生方に活用頂ければということで、技術分野、家庭分野ともに東京書籍としたいと思います。

釧路町教育長 釧路町としても、巻頭ガイダンスでコーナーを設けて、技術の捉え方などをわかりやすく説明がなされていることや、プログラミング教育も高校との接続が充実している面から東京書籍にしたいと思っております。それから、同社の家庭科も、コラムが充実しており、キャラクターを使うなど興味をもてる工夫がみられ、また、実物大等の写真を使い、視覚から理解する手法も取られていることから、技術・家庭ともに東京書籍が望ましいかと思えます。

事務局（司会） では、技術・家庭は、両分野とも東京書籍といたします。
続いて、英語お願いいたします。

釧路市教育長 英語に関しても各社非常に工夫を凝らされており、かつ、ほとんど差がないなと感じたのが実態であります。ただ、東京書籍に関しては、自ら音読練習ができるようなカラオケ機能など、多彩なデジタルコンテンツが充実しており、今日的なGIGAスクール構想の推進や、適用するような改良がなされている点で、東京書籍が適しているのではないかとというのが私の意見であります。

釧路町教育長 釧路町ですが、東京書籍は色々な場面、状況での英語で伝えあう対話的な活動が充実していると感じております。質疑の中で小学校の外国語や外国語活動との関連をお聞きしましたが、やはりその観点から見ても、現在小学校で使っている東京書籍との連続性、継続性から東京書籍が適していると考えています。

事務局（司会） それでは、英語は東京書籍といたします。
最後に、道徳お願いいたします。

釧路市教育長 道徳は小中連携に対応しているという意味で、教育出版が適していると考えております。

釧路町教育長 釧路町におきましても、教育出版が望ましいと考えております。
各社の教材文を読んだときに、絵本、漫画、写真など多いことから興味をひきやすいことですか、取扱いの題材や内容が今日的な社会課題で実感しやすさ、わかりやすさがあり、学習意欲がわきやすいという

のが印象です。

他社は、話はすごく感動的であっても中身は少し難しい扱いが多いとのことで、それらの観点からも教育出版の内容が釧路の子どもの実態に1番相応しいと考えました。

そういう関連性も考えると、教育出版が適していると考えました。以上です。

事務局（司会） では、道徳は教育出版といたします。

最後に、特別支援学級の使用教科書についてでございますが、これにつきましては、先ほど、小委員会の説明会において確認をさせていただいておりますが、改めて私の方からご説明をさせていただき、ご確認、ご承認いただく形とさせていただきたいと思います。

特別支援学級において使用する教科用図書につきましても、基本は本地区で採択した文部科学省検定済教科書を使用することとなりますが、当該学年用を使用することが適当でない場合は、①同教科書の下学年用、②文部科学省著作教科書、③学校教育法附則第9条に規定する一般図書のいずれの教科用図書も選定できるとさせていただきたいと思います。

その理由といたしましては、障がい種別が多岐にわたり、障がいの程度に大きな差があることや、障がいの重複、変化が見受けられる状況から、各々の学級の実態や障がいの程度、発達に即した教科用図書を使用することが望ましいとの観点でございます。

また、選定にあたりましては、昨年度、小学校の採択の際も付記させていただいております、留意事項を本採択におきましても付記させていただきたいと考えております。

内容としましては、①障がいの程度、種類、能力、特性から最も適切なものであること、②教科の目標に沿った内容であること、③これまで使用してきた教科用図書との関連を踏まえること、④分冊、図書の形態など教科用図書の条件に留意すること、⑤生徒の実態に合わせ単年度ごとに検討し選定に幅を持たせることの以上5点を付記させていただきたいと考えております。

以上についてよろしいでしょうか。

釧路市教育長 （異議なし）

釧路町教育長 （異議なし）

事務局（司会） それでは、特別支援学級において使用する教科書の選定にあたっては以上のとおり整理をさせていただきます。

以上で全教科の協議が終了しましたので、改めて選定した教科書の確認をさせていただきたいと思います。

国語教出、書写教出、社会の地理教出、歴史教出、公民教出、地図帝国、数学東書、理科教出、音楽は一般器楽ともに教芸、美術は日文、保健体育学研、技術・家庭ともに東書、英語東書、道徳教出、となっております。

選定につきましては、以上のとおり決定いたしたいと思います。

次に、情報公開の方法等について確認させていただきたいと思います。情報公開につきましては、本協議会の規約第 10 条に規定されておまして、採択結果、採択理由、議事録、調査研究資料については公表しまして、その他協議会の決定結果、決定理由及び調査委員名につきましては、市町それぞれの情報公開条例に基づき公表することとなっておりますが、その公開日及び公開する内容について統一したいと思いますので確認いたします。

まず情報公開日につきましては、市町それぞれの教育委員会において採択される日程に関連いたしますので、それぞれの教育委員会の日程を確認いたします。

最初に釧路市教育委員会の日程でございますが、8月28日水曜日の定例教育委員会に採択議案を提出し採択予定となっております。

釧路町教育委員会の日程のお知らせをお願いいたします。

釧路町 釧路町教育委員会は8月26日の教育委員会に採択議案を提出し採択予定でございます。

事務局（司会） 釧路市釧路町の採択議案を図る教育委員会の日程が異なりますので、両者とも採択議案につきましては非公開案件としてお諮り頂きまして、採択結果及び議事録等の公開の開始日は、会議録などの整理があると思いますので、9月9日月曜日からということでしょうか。

釧路市教育長 （異議なし）

釧路町教育長 （異議なし）

事務局（司会） それではそのようにいたします。

次に、公開の内容ですが、①採択結果②採択理由③採択地区教育委員会協議会議事録、協議会委員名④調査委員会議事録⑤答申のあった調査研究報告及び採択参考資料については、請求がなくても公表し、⑥調査委員会委員名及び⑦調査研究結果説明会会議概要はそれぞれの情報公開条例に基づき公表したいと思います。

なお、各議事録においては、発言者の氏名は公開しないことと、調査

委員会委員名は市、町両者の委員名について、お互い公開できることとしたいと思います。

また、それぞれの教育委員会等の議事、協議内容は、市町それぞれで必要に応じ、通常の教育委員会の情報公開、同様に対応することとしたいと思います。

以上、情報公開についてよろしいでしょうか。

その他全体について何か質問等ございますでしょうか。

それでは先ほど決定いたしました令和7年度以降に本採択地区で使用します中学校用教科用図書の選定につきまして、協議書の交換を行いたいと思います。

それぞれの署名をお願いいたします。

これをもちまして本日の協議を完了いたしました。最後に、協議会会長の釧路市委員会岡部教育長からご挨拶をお願いいたします。

釧路市教育長 大変お疲れさまでした。まず、常日頃からこの事務については、各市町村に非常に負担となる業務であることから、今回、13 採択地区の鶴居あるいは白糠の教育長からお話もありまして、今後、地区を統合しながら、それぞれの負担軽減を図っていく調整の段階であったため、調査委員会など皆さんにとっては、少し違和感のある採択協議だったかと思いますが、今後、13 採択地区においても、同じ委員会を踏まえた中で、それぞれに結論を導き出していただくことでありますので、まずは、本日、私も辻川教育長も、一つの整理を終えたと感じているところかと思います。今後とも釧路市釧路町との連携がますます進みますことをお願い申し上げ、併せて、この作業が完了することについて、ご苦労さまでしたと申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。

事務局（司会） それでは、以上をもちまして第2回第20教科用図書採択地区教育委員会協議会を閉会いたします。皆様大変お疲れさまでした。